

## 指針 5 肝炎医療の提供体制及び人材育成 (治療効果の研究)

### ○ 研究名

厚生労働科学研究費補助金・肝炎等克服政策研究事業「全国規模インターフェロン・データベースの二次利用による今後の肝炎対策のあり方に資する研究」

### ○ 趣旨

全国規模の IFN データベースにより、これまでの肝疾患治療について多角的に検証するとともに、新規治療の水平展開のあり方について等、今後の肝炎対策のあり方に提言できるような解析・研究を行う。

### ○ 調査対象

都道府県で行われている「B型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成制度」の認定患者で、治療効果判定がすでに可能な患者

### ○ 集計機関

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター・肝炎免疫研究センター・肝炎情報センター（厚生労働科学研究費補助金・肝炎等克服政策研究事業における本調査の主任研究官所属機関）

### ○ 調査項目

性別、生年月日、インターフェロン治療期間、初回治療・再治療の区別、診断名（肝組織進展度）、使用薬剤、治療開始時・治療終了時・効果判定時におけるB型肝炎ウイルスマーカーないしC型肝炎ウイルスマーカー、血液検査値、ウイルス学的判定（著効、再燃、無効の区別）インターフェロン治療状況、副作用等の詳細 等

### ○ 集計結果

平成21年度～27年度

全国から28,855事例を収集、うち東京都は2,025事例を占める。